

| 令和4年度 財光寺中学校 よりよい学校づくりのためのアンケート結果 | | | | 自己評価 | 肯定的評価(%) | | | 次年度に向けての改善策 | 学校運営協議会委員より | |
|-----------------------------------|----------------------|--|--|------|----------|----|-----|--|-------------|--|
| 評価項目 | 評価の観点 | 手 段 | 生徒 | | 保護者 | 職員 | 評価 | | 御意見等 | |
| 学力の向上 | わかる授業の充実 | 【生徒】毎時間の授業に積極的に取り組むことができている。 【教師】学ぶことの意義や学び方を指導している。 【生徒】授業に必要な物はきちんと準備できている。 【教師】指導法の工夫改善を行うことができた。 | ○ 主体的・対話的な授業を実践する。 ○ ネット環境の充実を図る。 ○ タブレットを効果的に用いた授業を行う。 | 3 | 88 | 94 | 95 | 【わかる授業の充実】 ○ 主体的・対話的な授業を継続する。(生徒が説明する場面を増やす。) ○ ペア、グループ学習の活用を効果的に取り入れる。 ○ 考える、書く時間の確保をする。 ○ 主題研の活用していく。 ○ タブレット活用の研修を行う。 | 3 | ○ 今後も将来を見据えたキャリア教育を実践してほしい。 ○ 学力向上を目指し、主体的・対話的な授業を継続してほしい。 |
| | 基礎・基本の習得と活用学習習慣の確立 | 【生徒】出された課題や宿題について、自分の力でやっている。または分からないところは教わっている。 【保護者】御家庭で、お子さまに、学習の仕方を教えたり、分からないことを一緒に考えたりしている。 【教師】基礎・基本の定着の手立てをとることができた。 【生徒】家庭での学習は確実にできている。 【保護者】御家庭でのお子さまの学習が習慣化されるように指導している。 【教師】学習習慣を確立させるための手立てをとることができた。 | ○ 生徒の家庭学習の取り組み状況を通信や三者面談等で伝え、生徒と保護者にも家庭学習の在り方について考えてもらう。 ○ キャリア教育を通して、学ぶことの意義を感じ取らせ、学習意欲の向上につなげる。 | 2 | 88 | 70 | 87 | 【基礎・基本の習得と活用、学習習慣の確立】 ○ タブレットドリルを活用する。(タブレットの持ち帰り) ○ 小テストを実施する。 ○ 話す、聞く活動を効果的に取り入れる。 ○ ノートやワークをしっかりと書く、取り組む習慣作りをする。 ○ 学習委員会と協力して取り組む。 ○ 地域の協力(はげまし隊)を得て個別指導を充実させる。 | | |
| | キャリア教育の充実 | 【生徒】自分の将来について考えている。 【保護者】御家庭で、お子さまの将来について話し合っている。 【教師】規律、礼儀、態度(社会人の資質)について指導している。 【生徒】家庭で、自分の役割があり、それを果たしている。 【保護者】お子さまは、御家庭で自分の役割があり、それを果たしている。 【教師】進路学習や情報提供を計画的に行うなどして、進路意識を高めることができた。 | ○ PTAや地域の方を巻き込んで、多くの人材から学ぶ機会を設け、多様なものの見方や考え方に触れさせる等、キャリア教育の充実を図る。 ○ 親に仕事のことや人生について語ってもらう機会を学校または家庭で作る。 ・ 学校での講話、家庭でのインタビュー等 | 3 | 76 | 77 | 100 | 【キャリア教育の充実】 ○ 3年間を見通したテーマを決めて計画を立てて取り組んでいく。 ○ ノームを徹底する。 ○ 家庭で進路について語る場面を設定する。 | | |
| 豊かな心の育成 | 道徳教育と人権教育の充実 | 【生徒】道徳の時間は、自分自身にとって有意義な時間となっている。 【教師】道徳教育(人権や生命の尊重など)の充実を図ることができた。 | ○ 道徳のローテーション制を継続する。 ○ 人権標語や人権作文を昼の放送等で紹介する。 ○ 生徒会活動と連動し、生徒の主体的学びにつなげる。 ○ ソーシャルスキルトレーニング等、人間関係づくりの支援を行う。 | 3 | 87 | | 82 | 【道徳教育と人権教育の充実】 ○ 道徳のローテーション制を継続する。 ○ 生徒会活動と連動し、生徒の主体的な学びにつなげる。 ○ 全職員・生徒で人権意識を高めるために、人権教育の柱を立てる。 | 3 | ○ 学校行事におけるはつらつとした姿がとても印象的であった。とても良い雰囲気であった。 ○ 今後も、子どもに寄り添った指導・支援を続けていってほしい。 |
| | 無言・気づきの清掃の深化 | 【生徒】無言清掃・気づきの清掃に積極的に取り組むことができている。 【保護者】御家庭で、お子さまが、整理整頓をきちんとするように指導している。 【教師】無言清掃・気づきの清掃の充実・深化を図ることができた。 | ○ 清掃は、継続して生徒会活動と関連付けて実践する。 ○ 清掃徹底週間のチェック項目(無言で取り組んでいるか、時間いっぱい取り組んでいるか、チャイムが鳴る間黙想ができているか、気づきの清掃ができているか)に、整理整頓ができているかという項目を加え、教室環境整備の視点を加えらるとともに、活用方法も工夫する。 | 2 | 89 | 84 | 87 | 【無言・気づきの清掃の深化】 ○ 清掃についての研修、集会の充実を図る。 ○ 生徒会と連携して生徒が主体的に取り組める環境作りをする。 | | |
| | 絆づくりの推進 生徒会活動の活性化 | 【生徒】学校生活において活躍できる場面やできそうな場面がある。 【保護者】学校生活においてお子さまが活躍できる場面やできそうな場面があると思う。 【教師】授業や行事等において生徒が活躍できる場面を実施し、自己有用感を高めることができた。 | ○ 生徒会主催のボランティア活動等、生徒の主体的な活動を支援する。 ○ 係活動の精選と充実を図る。 ○ 主体的・対話的な授業を実践する。 | 3 | 73 | 81 | 95 | 【絆づくりの推進、生徒会活動の活性化】 ○ 地域と連携したボランティアの継続・充実を図る。 ○ 適時、生徒の活躍を賞賛するための手立てを講じる。 | | |
| 体力の向上 | 体力の向上 | 【生徒】体力を高めるために、体育の授業や部活動・校外スポーツ等において積極的に活動ができた。 【保護者】お子さまは、体育の授業や部活動校外スポーツ等で充実した活動ができていると感じる。 【教師】体力向上プラン等による積極的な取組や部活動等の指導を通して、生徒の体力向上を意識した取組をすることができた。 | ○ 授業前に行っている、主運動に繋がる補強運動(握力を鍛えたり、柔軟性を高めるためのストレッチなど)を今後も継続する。 ○ 今年度同様、体育館にスポーツテストの目標を掲示する等、体力向上プランに基づき、コロナ対策で不十分だった部活動の実施も加え、継続して実践する。 | 3 | 85 | 82 | 73 | 【体力の向上】 ○ 授業前に行っている主運動に繋がる補強運動に継続して取り組む。 ○ 体力テストの結果を分析し、体づくり運動の単元で個に合った運動計画の作成を行い意識付けを図る。 | 3 | ○ 早寝・早起きなど、規則正しい生活習慣や基本的な生活習慣を身に付けることは大切なので、今後も小中連携して取り組んでいってほしい。 ○ 下校時の交通マナーが気になることもある。継続して指導してほしい。 |
| | 健康的な生活習慣 安全教育の推進 | 【生徒】交通ルールを守ったり、校内で落ち着いて過ごしたりなど、安全面を考えて生活している。 【保護者】御家庭で、お子さまが、健康・衛生面や安全面に気をつけて生活するように指導している。 【教師】自分や周囲の健康の保持・増進のために、衛生・安全面の意識を高めることができた。 【生徒】早寝・早起きをし、朝ご飯を食べるなど、規則正しい食生活を送っている。 【保護者】御家庭で、お子さまが、規則正しい食生活を送るように指導している。 【教師】給食時の指導を通して、正しい食生活の習慣を身につけさせることができた。 | ○ 登下校時の交通ルールについて、学級通信等を通じて啓発を行う。 ○ 手洗い・消毒・3密回避などの感染拡大防止について、引き続き指導を徹底する。 ○ 朝ご飯を中心とした、食育講座を計画し、実施する。 | 3 | 95 | 80 | 87 | 【健康的な生活習慣、安全教育の推進】 ○ 今後も登下校指導を行い、交通ルールについての啓発を行う。 ○ 引き続き感染拡大防止対策を行っていく。 ○ 来年度も食育講座を計画、実施する。 | | |
| 地域連携 | 家庭と学校の連携推進 | 【生徒】学校や学級からの文書や通信を保護者の方に見せている。 【保護者】学校や学級からの文書や通信を見ている。 【教師】学級通信や電話連絡、家庭訪問等を介して、保護者との連絡を図り、連携を推進することができた。 | ○ 安心安全メールを積極的に活用する。 | 4 | 79 | 76 | 82 | 【家庭と学校の連携推進】 ○ 安心安全メールを積極的に活用することで、確実に連絡を伝えることができた。来年度も継続していくと良い。 ○ 学級担任がほぼ毎週、学級通信を配付することで、保護者の信頼を得ていると感じる。大変な業務だが、来年度以降も継続できると良い。 ○ 学級担任を中心にして、家庭訪問を継続的に行うことができている。保護者からの苦情の少なさに繋がっていると感じる。 【地域社会との連携推進】 ○ よのなか教室、面接指導、13歳のハローワークなど、地域人材を活用した学習を各学年行うことができた。生徒会主体のボランティア活動も定期的に行うことができ、生徒の心の成長につながっている。来年度も継続して行えると良い。 ○ 授業変更等ではげまし隊に御迷惑をおかけしたので、来年度は対応を丁寧に行っていく。 | 3 | ○ 学校からの文書や通信、メール等での情報発信はとてもありがたい。今後もうまく活用してほしい。 ○ 3年生の面接指導を通して気付く子どもの良さがあつた。地域のサポーターとして、今後もできることを協力したい。 ○ 地域と学校がwin-winの関係になることが望ましい。子どもの成長とともに、地域の協力者もやりがいを感じる活動にしたい。 |
| | 地域社会との連携推進 | 【生徒】地域の行事やボランティア活動等に参加できた。 【保護者】お子さまは、地域の行事やボランティア活動等に参加している。 【教師】地域社会との連携(地域人材の活用・ボランティア活動への参加等)を意識した取組をすることができた。 | ○ 総合的な学習の時間での地域人材の活用を図る。 ・ よのなか教室、体験学習、面接指導など ○ 生徒会主体のボランティア活動を継続して行う。 | 2 | 48 | 33 | 56 | | | |
| 小中一貫教育 | 小学校との連携推進 | 【教師】めざす児童生徒の姿の実現のために、中学校区内の学校で共通実践が進められている。 【教師】小中一貫教育の取組により、めざす児童生徒像の姿に近づいている。 | ○ 合同研修会の内容を充実させていく。 ○ 相互の連絡を密にし、情報の共有を図る。 | 2 | | | 78 | 【小学校との連携推進】 ○ 小中学校の共通実践項目の内容を変更していく。ノーメディアデイではなく、学習規律の確立等にしていった方が、連携しやすく学力向上にも繋がると感じる。 ○ 今年度同様、相互の連絡を密にし、情報の共有を確実に図っていきたい。 | 3 | ○ 小学校・中学校の先生方は、それぞれの現場でとても頑張っている。 ○ 今後も子どもたちの健やかな成長のために、必要な情報共有は行ってほしい。 |